



思いきってやってみた!「オンラインBP1プログラム」

特定非営利活動法人子育てネットワーク志賀うりぼう 理事長 他谷 恵津子

大津市に根づいたBP1プログラム

私は、2008年に立ち上げた「特定非営利活動法人子育てネットワーク志賀うりぼう」というNPO団体の理事長をしています。ふだんは当団体が市の指定管理者になっている大津市北部の「つどいの広場にじっこ」という地域子育て支援拠点で活動している保育士です。BPプログラムにはプログラム制作時からご縁をいただき、2013年からは大津市の委託を受けてBP1を定期的に実施しています。『明日都浜大津』という大津市中心部の施設で、2019年度までは定員20名で年間6クール実施していましたが、感染症予防のために定員が10名になった2020年度以降は、定員20名を午前午後の2クールに分けて実施する方法で、感染状況に応じてBP1を毎年続けています。大津市の場合、参加者は健康推進課の保健師さんによる新生児訪問でのアウトリーチです。毎回定員20組+キャンセル待ち1~2組という状態がコンスタントに続いていて、定員が10組になってからも午前10組、午後10組というペースで参加のある人気のプログラムになっています。新生児訪問担当の保健師さんにはBP1を実際に見てもらおうことで、実のある勧誘をしていただいております。「自分も第一子を出産した時にBPプログラムに参加した。とても楽しかったし、今でもその時に知り合った仲間と交流が続いている。」と喜んでくださる保健師さんもおられるなど、大津市の子育て支援にBPプログラムが根づいてきたように感じています。

ダメダメだったオンラインBP1養成講座

昨年2月にBP1のサポーター対象に「オンラインBP1」の養成講座が初めて開催されました。実際にオンラインBP1ができるかどうかは未定だったのですが、どのようなプログラムができたのか知りたい気持ちもあって、とりあえず受講しました。養成講座は、事前にちょっとしたアクシデントがあったこと、我が家のWi-Fi環境がベストな状態でなかったため途中で途切れたりして、落ち着いた気持ちで取り組むことができず、「やはりオンラインは私には向いていないんだ…」と落ち込んでばかりでした。

「BP1」については活動歴が長く、そこそこできていた自信があったのですが、「オンラインBP1」については、養成講座でのあまりの自身のダメダメぶり、2月以降しばらくは普通に対面式のBP1ができていたこと、「オンラインBP1」を経験することはもうないかもしれないな…とっていました。ところが、昨年9月に再び感染状況が悪化し、BP1の中止の危機が訪れて

しまったのです。主催者である健康推進課からは「中止決定。参加予定者にはこれから連絡を入れる。」旨の電話がありました。その電話をもらった時には、養成講座を受けたのでオンラインでの実施も可能だということは伝えたものの、自信がない私は、「やります。やりたいです。」とは言えず、そのまま中止になってしまいました。

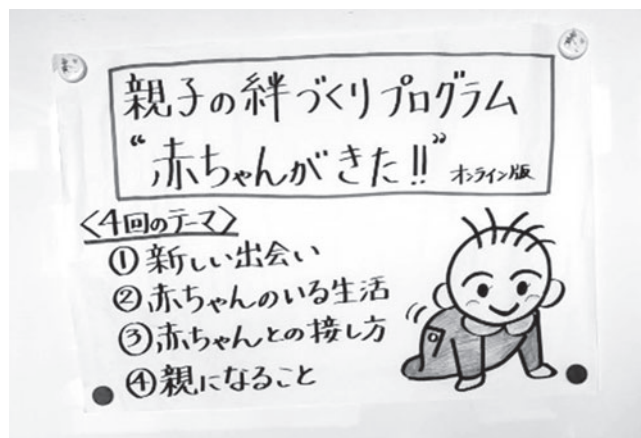
その後さらに感染が拡大し、BP1だけでなく親子が集まるようなイベントや講座が次々と子育て支援の場から消えていきました。「にじっこ」も開館こそ継続していたものの、乳児とその保護者の姿を見ることが少なくなりました。同じころ、10か月健診でみる赤ちゃんの成長とお母さんの対応に少し心配なところが見られるようになったといった話を聞くようになり、ただでさえ、初めての子育てをしているお母さんたちは家に赤ちゃんを閉じこもりになりがちなのに、コロナ禍で出産され子育てされている方たちがどのような思いでいるのだろうと思うと、「オンラインBP1」の養成講座を受けておきながら、9月に「BP1」の中止を簡単に決めてしまったことを悔やむ気持ちが生まれました。

ついに実現したオンラインBP1

私が初めて「オンラインBP1」に挑んだのは、今年の2月です。この時もすでに参加者が決定した後に、感染状況が悪化し、実施の3週間前になって、「残念だが中止にしたい」という連絡がありました。9月にBP1を中止した時の後悔がよみがえり、すぐに市の担当者に「このまま大事なプログラムが中止になってしまうのはよくないと思います。BP1にはオンラインという別の方法があるので、こちらでやらせていただくことはできないでしょうか？」とお伝えしました。「Wi-Fi環境が整っていない」とか「Zoomの有料会員でない」とか、以前中止になった時には自分の中で「オンラインBP1」ができない理由にしていたことを、この時には「やると決めたら何とかなる」という気持ちが強くなっていました。

オンラインBP1になると、Zoom操作のための説明会をするため回数が1回増えます。そのため、ファシリテーターの報酬が上がってしまうこと、使用するシートが違うので印刷し直さなくてはならないこと、また事前に資料を送付する必要があることで郵送料が上がってしまうこと、等々問題はありましたが、市としては対面のBP1と同じ予算でできるのであればやってもらいたいということになり、予算的には多少苦しくはなったもののなんとか実施できることになりました。

私たちの団体でオンラインBP1の養成講座を受けたのは私だけなので、初めて実施するにもかかわらず、いきなり午前・午後のファシリテーターをどちらも自分が担当することになりました。そこで、「参加者20組といっても急な変更になるので、すぐにOKという人ばかりではないだろう。それなら午前午後で10組ずつ実施する予定だったものを一度にできたら予算的にも楽になるのでは？」と思い、オンラインBP1の定員16組を1、2組オーバーしても認めてもらえないかと事務局へ打診したところ、「初めての実施で16組というのではとてもたいへんです。参加者もスマホなら画面に4人しか映らないから、何回もスワイプすることになるし、一言ずつ言うとも時間が掛かりますよ。」と言われました。結局、時間が変更されたら参加できないという人がいて、予定通りの2部制になりました。10名ずつの予定だった参加者は、オンラインへの変更で午前6組、午後7組と減少しました。



思いがけないトラブル対応

自分のZoom操作もさることながら、参加者もZoomをするのは初めてで、スタート時に名前を入力しかたを説明しなくてはならない人も少なくありませんでした。また、参加者が使用する端末は、パソコン、タブレット、スマートフォンなど多岐に渡り、「スマホの画面を横にしてください。」と言ったら、画面にロックがかかっていて回転しなかったり、相手のWi-Fi環境によっては画面がフリーズしたり、雑音が入ったりするなど、想定外の対応がいろいろと必要でした。生半可に大人数にしなくてよかったと思いました。機械操作のパソコンとファシリテーター用のパソコンの音声がハウリングして、ヘッドセットを使う必要があることに気づくまでに時間がかかったりもしました。対面のBP1と微妙に内容も違うので、セッション計画も一から作成することになり、進行についても機械操作のシュミレーションをするなど、事前準備にも時間がかかりました。初めてのことでセッション報告書も毎回提出しなければならず、久しぶりの苦しい日々？が続きましたが、ピアサポーターさんの細部に渡ってのアドバイスのおかげで、何とか乗り切ること

ができました。Zoom操作についても丁寧に教えていただきました。また、セッションを進めている時には機械操作にまでは気が回らなくなるので、BP1ファシリテーター資格のあるアシスタントの機転がなければ乗り越えることができない場面もたくさんありました。対面のBP1以上にアシスタントの役割は重要だと思いました。

参加者の反応は？

オンラインBP1の参加者の感想は、対面式の時と同じように、「夫や家族以外の人と話ができてよかった」「ストレス発散ができた」「悩みを共感してもらえてよかった」「みんな同じようなことで悩んでいるのだと知って安心した」「今後もお付き合いできる子育て仲間ができて良かった」といった感じでした。オンラインだったことについては、「最初は対面で話したいと思っていたが、思ったよりすごく楽しかった。」「オンラインになったので不安だったが、もし会場に言っていたら話す相手は限られていたかも。」というものがありません。

ファシリテーターとしては、グループセッションの際も各グループにのぞきに行けることで、それぞれのグループの話が対面の時よりしっかり聞けたことが新たな発見でした。また、第3回のグループセッションの際に多くのグループで、実際におもちゃや絵本を画面に映して紹介されていたのが印象的でした。

参加者には自分が話をするとき以外はミュートにしておいたので、こちらには生活音はほとんど聞こえず静かに話が進行しているように思っていたのですが、実際は自分の赤ちゃんが大泣きして相手の話が聞こえにくかったことや、ファシリテーターの話が聞き取れず何をかわからない時があったということがアンケートには書かれており、オンラインというのは、周囲の様子を伺うとか、隣の人にこっそり聞くということができないのだということに後から気づいて反省しました。後日、どうしてもみんなで会いたくなって時間を合わせて支援センターと一緒に行かれたグループもあったそうで、オンラインでも対面の場合と同じように仲間ができることもわかりました。

今後の取り組み

大津市では、今年度最初のBP1プログラムが5月12日から始まります。こちらはまた対面で実施する予定ですが、今回のチラシから「感染症の流行状況や天候により、日程や開催方法（オンラインでの開催）等を変更することがあります。」という一文が入りました。おそらく今後も大津市のオンラインBP1は、「対面式を計画していたけど、感染症が心配になってきたのでオンラインに変更します」というようなやり方での実施になると思います。ちょっとたいへんだけど、中止しなくてもいい方法が出来たことがとてもありがたいです。

